

平成 30 年度 児童福祉部事業報告書

【認定こども園ポートピア】

- 1・平成 30 年度は、233 名でスタートし、0 歳児が 8 月には定員を満たした。他年齢も順調に入園したため運営面は問題なく安定した。1 歳児の待機が多かったため 1 歳児を 3 クラスにして一時保育との混合クラスとして運営した。
- 2・職員確保が難しい中に於いてでも 0 歳児が増えていくタイミングで 1 名確保できたため保育に支障を来たすことはなかった。後半期には殆どの子どもが 1 歳を迎えるため 3 対 1 の配置を緩やかにしながら待機児童受け入れを積極的に行った。
- 3・職員の採用については各養成校に求人票を送ったりポスター掲示を依頼したり就職フェアに出向く、またインターネットサイトなどを使って採用に繋げる対策を取っているが結局、紹介会社や派遣会社を頼らざるを得ない現状で今後も大きな課題になってくると思われる。
4. 子どもの怪我の件数は 13 件あった。幸い、大きな怪我に繋がらなかったが、引き続き保育室及び園庭の安全整備を行い子ども達のがのびのびと様々な遊びに挑戦できる環境を整えたい。誤食に関しては 0 件を達成し、大変うれしく思う反面、気を抜かず安全提供を心掛けたい。
5. 「子育て応援事業」は、2,259 名の参加があった。参加者はほぼ定着してきており予約制を用いて参加してもらったため 29 年度より参加数は抑え気味になっている。内容としては神戸医療大学とのコラボ企画なども盛り込んで参加者に喜ばれた。
- 6・1 階、シャワー室の床タイルが剥がれ、子どもが通行する際に危険であるため急遽、利便性を備えた空間へと改修工事を行った。
- 7・厨房のスチームコンベクションについては度々、修理を重ねてきたが経年劣化もあり突然、使用できなくなる公算が大きくなったため買い替えを行った。